

令和6年度 年度計画(案)の概要

地方独立行政法人 長野県立病院機構

I 業務運営目標

令和6年度は、第3期中期計画において達成すべき課題に対して取り組むとともに、県から示される第4期中期目標に対応する第4期中期計画を策定する。また、医師の働き方改革への対応や資金収支の不均衡など、経営を取り巻く厳しい環境の変化を見据え、更なる経営改善の取組みを進め、引き続き県民へ安全・安心で良質な医療を安定的に提供する。

II 年度計画

条項	年度計画案
第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	
1 県立病院が担うべき医療等の提供	各病院は、地域の医療需要に応じた診療体制を整備するとともに診療機能の充実を図る。阿南病院、木曾病院は、へき地医療拠点病院として医療提供体制を維持する。
(1) 地域医療の提供	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆新 訪問看護ステーション開設による在宅医療体制の確保・機能の拡充（信州・木曾） <ul style="list-style-type: none"> ・ 助産師の活用、院内助産体制の見直し、産科医師・小児科医師との連携を図り、地域の分娩を担う施設として産科医療体制を維持（信州） ・ 市町村と連携し対策型胃内視鏡検診・大腸内視鏡検診の啓発の実施（同上） ☆拡 訪問看護ステーション「こまほす」の地域クリニック及び行政機関との連携を強化し訪問を拡充（駒ヶ根） ☆新 嚥下機能障害を有する患者に対する摂食嚥下外来の開設（阿南） <ul style="list-style-type: none"> ・ 小児リハ等の安定的提供に向けた体制の整備（同上） ☆拡 患者サポートセンターを移転し、機能の拡充・関係機関との連携を強化（木曾） <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器の共同利用などによる下伊那南部地区診療所との連携（阿南） 新 無医地区の医療環境確保のため、巡回診療を継続。このうち隔月でオンライン診療を実施（木曾） <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域医療支援病院として地域の医療機関との連携を推進（こども）
(2) 高度・専門医療の提供	各病院は、感染症（新興感染症を含む）に対する公立病院としての役割を果たすため、新興感染症の感染拡大に備えた平時からの取組を行う。また、感染防止対策を徹底し、院内感染の防止を図る。
ア 感染症医療(新型コロナウイルス感染症対応を含む。)	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の感染症指定医療機関及び保健所等と連携し、感染症医療をリードするとともに、協定指定医療機関への支援、広域での収容訓練の実施、感染対策情報の随時発信（同上） <p>拡 第8次保健医療計画に基づき、新興感染症等の感染拡大時に対応可能な専用病床整備を検討（駒ヶ根）</p>
イ 精神医療 (駒ヶ根)	<p>県の政策的・先進的な精神医療を担う病院として、24時間体制の精神科救急・急性期医療を提供するとともに、先進的な専門医療の充実を図る。</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 子どものこころ総合医療センター、次世代型デイケアの開設に向けた基本設計の策定 新 摂食障害治療の充実を図るためFBT（Family Based Treatment）を取り入れた治療の標準化を検討 拡 救急・急性期病棟（B1病棟）の個室化改修工事による病床利用率の向上 拡 急性期治療病棟（A2病棟）の閉鎖病棟への転換に伴う社会的ニーズへの対応と病床の効率的な運営
ウ 高度小児医療、周産期医療 (こども)	<p>県における高度小児医療、総合周産期医療の中核病院として、高度小児医療、小児在宅医療及び周産期医療等の診療体制の充実に取り組む。</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 拡 病棟再編によるベッド運用効率化及び重症患者受入機能の強化 拡 評価入院、医療的ケア児の受入体制の強化 拡 患者、家族、医療スタッフ全員で築いていく医療（Family Centered Care）の展開 新 ネウボラセンター開設に向けた体制整備 拡 内分泌代謝科の小児の糖尿病や甲状腺疾患等の専門診療体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国の調査研究「新生児マススクリーニング検査に関する実証事業」への参加に向けた準備

条項	年度計画案
<p>エ がん医療 (信州、木曾、こども)</p>	<p>質の高いがん医療を提供するため、がん診療連携拠点病院との連携を強化し、がん診療機能の向上に努める。</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ピロリ菌専門外来の利用促進と検査の積極的な広報（信州） 新 がん相談支援センター「がんサロンほほえみ」へのオンライン参加を開始（木曾） 新 緩和ケア研修会の開催（〃） 新 がん相談支援センターのがん専門相談員によるオンラインがん相談の開設（〃） ・ 放射線治療装置（リニアック）を活用し、信州大学医学部附属病院と連携して全県的な小児がん治療体制の充実及び地域医療機関からの紹介による成人がん患者を対象とした放射線治療を拡充（こども）
<p>(3) 災害医療等の提供</p>	<p>災害拠点病院及びDMAT(災害派遣医療チーム)指定病院である木曾病院並びにDPAT(災害派遣精神医療チーム)先遣隊登録病院であるこころの医療センター駒ヶ根を中心に、各病院が災害発生に際し、必要な医療を確実に提供する。</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ DMAT（木曾）・DPAT（駒ヶ根）等による災害時における医療活動 拡 DPAT先遣隊隊員の養成及び派遣に要する装備・資機材の再整備（駒ヶ根）
<p>(4) 認知症の専門医療の提供 (駒ヶ根、阿南、木曾病院)</p>	<p>こころの医療センター駒ヶ根は、地域型認知症疾患医療センターにおいて、関係機関等と連携し認知症の専門医療・専門相談を提供する。また、阿南病院及び木曾病院は、認知症の医療需要に対応するため、診療及び患者・家族の相談支援体制を充実する。</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆新 レカネマブ（アルツハイマー病の進行を抑制する薬）による治療開始に向けて、関係医療機関との連携協議及び院内体制の整備（駒ヶ根） 新 認知症の相談・支援に携わる職員の育成（阿南） 新 認知症認定看護師の養成、物忘れ専門外来の開設（木曾） 新 地域保健医療・介護関係者等への研修を目的として、他の認知症疾患医療センターと連携し、認知症フォーラムを開催（〃）
<p>(5) 介護サービスの提供</p>	<p>阿南及び木曾介護老人保健施設は、在宅復帰に重点を置いたサービスを提供する。阿南病院は、訪問看護ステーションの運営により在宅医療・介護サービスを提供し、木曾病院は、介護医療院の運営により介護ニーズに適切に対応する。</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆新 訪問看護ステーション開設による在宅医療体制の確保・機能の拡充(再掲)（信州・木曾） ・ 訪問看護ステーションの安定的な運営（阿南） ・ 地域のニーズに応え、利用者の確保による介護老人保健施設の経営安定化（阿南・木曾） 新 介護報酬改定に対応し、超強化型算定継続による経営の安定化（木曾）
<p>2 地域連携の推進</p> <p>(1) 地域医療構想への対応</p> <p>(2) 地域包括ケアシステムの推進</p> <p>(3) 地域の保健・福祉関係機関等との連携の推進</p>	<p>各病院は、地域の実情に応じた医療・介護ニーズに適切に対応するため、在宅医療に積極的に取り組むとともに、関係機関等と連携し、各地域の地域包括ケアシステムにおける役割を果たす。</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新 訪問看護での特定行為看護師の活用（信州） 新 リソースナース（認定看護師、特定行為研修修了看護師等）の介護施設等への院外研修による、積極的な地域支援の実施（同上） 新 退院後安心した生活を送れるよう在宅療養への移行を実施（同上） 新 須高地域、長野地域等の医療機関及び福祉施設等を対象に地域医療連携交流会を開催し、地域医療連携の一層の推進を図るとともに当院の診療体制の特徴や強みを発信（同上） 拡 多職種チームで適切な治療と評価を行い、入院前から退院後までの支援を図る「包括的支援マネジメント」を拡大（駒ヶ根） ・ 近隣市町村の健康増進事業へ継続して医師を派遣し、県民のメンタルヘルス相談に対応（同上） ・ 諏訪及び飯田児童相談所への継続的な医師派遣により、緊密な連携を推進（同上） 新 退院前後訪問の計画立案及び実施（阿南） 拡 リソースナース（認定看護師等）の専門性を活かした地域支援、地域医療福祉連携会議の開催（同上） ・ 施設訪問、地域連携会議を実施して関係施設との連携を強化（木曾） ・ 研修会の実施等、入退院支援スタッフの育成を推進（同上） 拡 老朽化が進む病院の将来的な建替に向けて、院内の病院建替検討委員会及びWGを中心に必要な機能等を検討（こども） 拡 患者、家族、地域から求められる病院機能の多様化へ対応するためのニーズ調査を実施（座談会の開催含む）

条項	年度計画案
<p>3 医療従事者の養成と専門性の向上</p> <p>(1) 県内医療に貢献する医師の確保・養成</p> <p>(2) 機構職員の養成</p> <p>(3) 県内医療技術者の技術水準の向上への貢献</p> <p>(4) 信州木曾看護専門学校の運営</p>	<p>各病院は、その特色を活かした臨床研修プログラム等により初期臨床研修医等の受入れと育成を行うとともに、研修の充実を図ることにより機構職員の知識、技術、資質の向上を図る。本部研修センターは、外部医療機関等と連携し、シミュレーション教育を活かした研修会等を実施し、県内医療従事者の技術水準の向上に取り組む。</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 信州大学医学部との寄附講座の事業検証（信州） 拡 機関の看護師を積極的に受け入れし看護師特定行為研修指定研修機関として特定行為ができる看護師の養成を推進（同上） 拡 児童精神科医の募集を強化し、専攻医を主とする精神科医師を確保するため、医師募集サイトを充実（駒ヶ根） 拡 精神科認定看護師（看護管理者）の養成 新 看護師の資質向上のため、資格取得や学会等への参加などを奨励、支援（阿南） 新 医学生を対象とした一泊二日病院見学会の開催（木曾） 新 専攻医採用に向けたオンライン病院見学会等の実施、専攻医教育の充実（こども） 拡 シミュレーション教育への医療技術部門等の参加者拡大（研修セ） ☆ 長野県医療従事者シミュレーション教育指導者研究会の発表会の充実（同上） 新 事務職について、業務の専門性を見据えた人事・研修体制の検討（本部・研修セ） ☆拡 教員の安定的な確保及び教育力の向上（看護学校） ☆拡 学生募集及び学生確保に向けた取組み（同上） ☆拡 学生の学習環境及び生活環境の整備・充実（同上）
<p>4 医療の質の向上に関すること</p> <p>(1) より安全で信頼できる医療の提供</p> <p>(2) 医療等サービスの一層の向上</p>	<p>各病院が連携して医療安全対策を推進し、医療安全の標準化と質の向上に努める。患者満足度調査により患者及び家族の要望・要求を把握・分析した上で、よりよい患者サービスの提供に努める。</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全相互点検の実施及び医療安全管理研修会の開催（本部） ・ 病院独自の「内部監査チーム」活動による医療の質を維持・継続（駒ヶ根） 拡 本格導入した包括的支援マネジメントを中心としたケアプロセスの実施（同上） 新 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）に関する院内スタッフ向けのアンケート調査の実施結果を分析し、さらなる普及活動を推進（木曾） 拡 ボランティアの必要人数確保と対応分野の拡充（同上）
<p>(3) 先端技術の活用</p> <p>(4) 信州大学等との連携</p> <p>(5) 医療に関する研究及び調査の推進</p>	<p>訪問診療における遠隔診療の実施や、電子カルテの相互参照等、医療分野における最新技術の活用により、医療従事者の負担軽減、業務の効率化を推進する。また、臨床研究を推進し、医療技術・医療水準の向上に努める。</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新 AI読影システム活用による見落とし防止等の医療安全対策の強化及び医師の業務負担軽減（信州） ☆新 高度で複雑化した整形外科関節疾患の治療を安全かつ正確に実施するため、専門に特化した「人工関節・下肢関節機能再建センター」を開設（信州） ・ オンライン診療の継続及び発熱外来におけるオンライン問診の活用（阿南） ・ オンライン診療の実施（木曾） 拡 電子処方箋発行率の向上（同上） ・ オンライン診療及びオンライン産前指導の推進（こども）
<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 業務運営体制の強化</p> <p>2 働き方改革への対応</p> <p>3 職員の勤務環境の向上</p>	<p>医療環境の変化に柔軟に対応した的確な組織・人事運営を行うとともに、医師の労働時間短縮に向けた取組を推進する。また、労働時間の適正な管理や有給休暇の取得促進を図るなど職員の職場環境の整備を推進する。</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 拡 経営改善のための病院管理会計ツールを用いた経営分析の推進（本部） ☆新 デジタル技術最適化のための内部事務系ネットワーク等更新計画の作成（同上） ☆新 医師労働時間短縮計画検討チームにより労働時間短縮を推進（信州） 拡 特定行為研修の区分及び内容を必要に応じ充実させ、研修修了後の人材を活用（同上） 新 救急外来看護師による外傷に対する放射線検査プロトコール、胸痛のある患者に対するプロトコールの実施を進め、医師の負担軽減を推進（同上） 新 入退院支援室に看護師長を配置し、入退院支援を強化（同上） ・ オンライン問診等デジタル技術を活用した医師・看護師の負担軽減の推進（阿南） ☆ 年度計画と人事評価制度を絡めたアメラ経営の推進による業務・経営改善の実現（木曾） 新 医師労働時間短縮計画の推進及び労務管理体制の整備（こども） 新 勤務医の正確な労働時間の管理のため医師専用の勤怠管理システムを導入（同上） 拡 診療実績、経営指標の分析業務の効率化と院内周知の仕組みを構築（同上） 拡 院内における資金収支及び予算管理体制の整備と運用見直し（同上）

条項	年度計画案
<p>第3 予算、収支計画及び資金計画</p> <p>1 経常黒字の維持 ※予算、収支計画、資金計画(略)</p> <p>2 経営基盤の強化(収益の確保、費用の抑制) ※患者数目標等(略)</p>	<p>様々な診療報酬加算や施設基準の取得のほか、DPC係数向上の検討等、診療報酬改定に的確かつ迅速に対応し、収益を確保する。 診療材料や医薬品等の適切な管理により、コスト削減に努めるとともに、経営状況の分析を随時行い、費用対効果を意識した業務改善に積極的に取り組む。</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★新 診療材料の調達支援・共同購入を活用した、価格交渉等による診療材料費の削減(信州・こども・本部) ★新 経営コンサルタントを活用した、各病院の収支構造の分析、収支改善策の検討、適正な投資水準等の検討を実施(本部・各病院) 新 DPC入院期間Ⅱ以内の退院率向上(信州) 新 総合治療病棟(B2病棟)の精神病棟入院基本料の算定区分の変更に向けた院内体制等の整備(駒ヶ根) 拡 非常勤職員の削減、超過勤務手当の縮減(同上) 新 入院患者動向を踏まえた許可病床数削減(阿南・木曾) 新 木曾地域公共交通計画をサポートすることで、患者通院手段を確保(木曾) 新 オンライン診療等、医療DXを積極的に導入、受診方法の選択肢を増やすことで収入の確保(同上) 新 他の医療圏に流出割合が多い若年層に向けた新たな広報の推進(同上) ★新 診療報酬改定に対応した新たな病棟編成(同上) 新 委託業務の見直し(木曾・こども) 拡 病棟再編によるベッド運用効率化及び重症患者受入機能の強化(NICU、PICU)(こども) 拡 評価入院、医療的ケア児の受入体制の強化(同上) 拡 経営企画室会議プロジェクトの推進(空き手術枠の利用促進、MRI検査等の休日予定検査の実施等)(同上)
<p>第7 その他業務運営に関する事項</p> <p>2 施設整備及び医療機器に関する事項</p>	<p>病院機構は、地域の医療需要や費用対効果等を総合的に勘案し、中長期的な視点に立って、施設及び医療機器の整備を計画的に実施する。</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ランサムウェア等のサイバー攻撃への対策の推進(各病院・本部) 拡 令和7年度更新予定の電子カルテ仕様書においてサイバーセキュリティの残る課題に対応(駒ヶ根) 新 資本的予算の執行停止・延期による投資額の抑制(本部・各病院)
<p>3 マイナンバーカードの健康保険証利用(オンライン資格確認)の利用促進ための取組</p>	<p>各病院は、マイナンバーカードの健康保険証利用の利用促進のため、ポスターの掲示の他、病院ごとに取組を継続して実施する。</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者の目につきやすいよう受付機器周辺にポスター等の掲示、デジタルサイネージ、広報誌による周知を実施(信州) ・ ポスター掲示や広報誌による患者への働きかけを実施(阿南) ・ 電子カルテへの掲載、メール等による職員への情報共有、わかりやすい掲示、マイナ保険証受付端末の複数設置による患者への働きかけを実施(木曾) ・ 院内への通知文配布による職員への情報共有を実施(こども)
<p>第8 その他中期計画補足事項</p> <p>1 地域包括ケアシステムにおいて果たすべき役割・機能</p>	<p>中期計画を公立病院経営強化プランとみなすために必要な事項について、年度計画で補足して記載する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般急性期医療を主軸に回復機能も保有し、総合的な医療を提供(信州) ・ 急性期機能を維持しつつ、急性期経過後に入院医療を要する患者の受け入れも行う(阿南) ・ 急性期機能を維持しつつ、回復期・慢性期・在宅医療の機能を充実(木曾) ・ 長野県唯一のこども専門の病院として、一般の医療機関では対応困難な高度小児医療の中核的な病院、県の総合周産期母子医療センターとしての機能を担う(こども)

条項	年度計画案
<p>2 病院の役割・機能を見直す場合に必要となる住民の理解のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県、市町村、須高地域関係機関の委員で組織される運営協議会を開催し、当院の診療・経営状況について説明（信州） ・ 病院の運営方針や事業計画について、地域の代表者や病院利用者等から意見を聞く病院運営協議会や相互理解を深めるため地元地区との懇談会を開催（駒ヶ根） ・ 病院運営についての理解を深めてもらうため、地域の代表者を構成員とする「病院運営懇談会」を開催（阿南） ・ 地域の代表者で組織される病院運営協議会やモニター会議の場で、当院の経営状況や事業計画について説明（木曾） ・ 今後、必要とされる病院の役割と機能について、自治体や地域住民と共に検討する場を立ち上げる（同上） ・ 病院運営協議会を開催し、病院運営方針及び年度計画の説明、経営状況及び業務実績の報告、地域医療支援病院に係る業務報告を実施している。（協議会は、県、市町村、信州大学、医療関係団体、こども病院利用者、病院ボランティア、地元地区及び県関係機関の委員で組織）（こども）
<p>3 医師・看護師等の確保のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師確保のため、大学医局に対する派遣要請やドクターバンクの活用（信州） ・ 児童精神科医の募集を強化し、専攻医を主とする精神科医師を確保するため、医師募集サイトを充実（再掲）（駒ヶ根） ・ オンライン問診等デジタル技術を活用した医師・看護師の負担軽減の推進（阿南） ・ 労働時間の把握・分析及び衛生委員会による院内への周知活動（同上） ・ 地域における医療職人材の育成を視野に、高校生を対象とした医療体験事業の継続（木曾） ・ 将来の職場選択の契機づくりとして、夏季休暇中など医療系学校の休校期間に「サポートスタッフ」として雇用機会を提供する事業の継続（同上） ・ 専攻医採用に向けたオンライン病院見学会等の実施、専攻医教育の充実（同上） ・ 看護部、医療技術部における積極的な学生実習の受入（こども） ・ 院内研究助成制度の活用（同上）
<p>4 非常勤の医師・看護師等の派遣受入に向けた取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師確保のため、大学医局に対する派遣要請やドクターバンクの活用（再掲）（信州） ・ 二次救急体制の維持や、住民からの要望が高い診療科について、信州大学医学部と上伊那医療圏及び松本医療圏に所属する医療機関との連携を強化し、非常勤医師を確保（木曾）
<p>5 医師・看護師等の不足の原因分析や派遣元の今後の意向を踏まえた対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣に競合する総合病院がある中で、一部診療科では医師が不足している。大学医局に対する派遣要請やドクターバンクの活用により医師を確保（信州） ・ 医師・看護師の不足の原因は当院が地理的に不利な状況に所在しており、そのような場所に勤務を希望する医師を募集しても応募がない状況のため、大学医局に対する派遣要請活動を実施（阿南） ・ 長時間勤務や宿日直、自身の教育環境や生活拠点としての立地条件、子供の教育、家族の理解など地方勤務を妨げる要因は多い。医師確保にあっては、引き続き信州大学医学部と連携を図るとともに、所定労働時間帯の柔軟な運用や、拘束体制の見直しなどによる改善を進めるとともに、職員宿舎の整備による勤務環境の改善を図り、医療人材を確保（木曾） ・ 公立病院経営強化ガイドライン及び地域医療構想の動向を踏まえて、小児医療の基幹病院としての役割（高度小児専門医療、移行期医療等）を果たし、機能強化を図るため、引き続き必要な医師・看護師等の確保と養成が必要である。医師確保にあたっては、信州大学医学部と連携を進めるとともに、教育研修体制の充実等により医療人材を確保（こども）

新しい取組は「新」、拡充は「拡」、主要事業には「☆」を表示